

東大野球部メールマガジン Vol.155

ごあいさつ

枯葉舞い散る季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

11月1日に行われた新人戦、対早稲田大学戦は初回のミスが響き、途中の反撃も及ばず2-5で敗北となり、1回戦敗退となりました。温かいご声援誠にありがとうございました。

また、弊社では先日新体制の発表があり、オフ明け後には新チームでの練習がスタートします。秋季オープン戦も東大球場にて行われますので是非観戦にいらして下さい。

今後とも東大野球部をどうぞよろしくお願い致します。

今後の日程

〈秋季オープン戦〉

11月20日 10:00 vs 江戸川学園取手高 @東大球場
13:00 vs 学習院大 @東大球場
11月23日 13:00 vs 藤嶺学園藤沢高 @東大球場

今回の特集 「新人戦を振り返って」

今回の特集では、秋季新人戦を振り返った感想や今後の意気込みについて以下の5人のメンバーに聞きました。

三鍋 秀悟 (2年・捕手・川和)

最後の新人戦が終わりました。

今回、自分はキャプテンという立場を任されましたが、足を引っ張ってばかりで大変申し訳なく思います。キャプテンをやって一番感じたことは周りに

気を配ることの大変さです。自分のプレーで精一杯ではキャプテンは務まらないと思いました。

キャッチャーはキャプテン同様、特に周りに気を配らなければいけないポジションだと思います。周りに気を配れるように、まずはこの冬にたくさん練習して自分のプレーに余裕が持てるようにしていきたいと思っています。



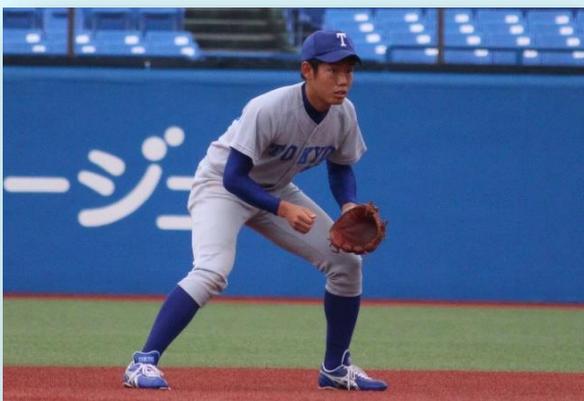
磯野 悠太郎 (2年・内野手・時習館)

新人戦では、公式戦で初めてスタメンとして試合出場しましたが、チームに貢献することがあまり出来ず、悔しい思いをしました。また、宇佐美(2年・外野手・桐朋)のホームランを見て、自分も打って貢献したいという気持ちが強くなりました。そのためには、まず複数打席が与えられるような守備力をつけなければなりません。春に向けて、冬の間に自分の課題をしっかりと克服できるよう日々練習したいと思います。応援ありがとうございました。



岩田 昂之 (2年・内野手・国立)

今回の新人戦では、チームとして課題と収穫の両方が見つかったと思います。こちらのミスで相手にチャンスを作らせると大量失点につながってしまうことや、試合の中でもアプローチを変えていかないと相手投手に対応できないことを身をもって感じる結果となりました。逆にきっちり野球をやっていけば十分勝負になると思えたのは収穫だと思います。皆でこの経験を生かして、冬の間にもっと強くなっていきたいです。



濱崎 貴介 (1年・投手・鶴丸)

新人戦を終えて、手応えもありますが、自分の力不足を痛感しています。この冬は自分の実力を見つめ直し、来年の春に向けて飛躍するために邁進していきます。また、怪我には本当に気をつけて練習をします。今後とも応援よろしくお願い致します。



山下 大志 (1年・投手・豊田西)

自分は秋季リーグ戦の早大戦2回戦に先発させて頂きましたが、情けない投球となってしまい新人戦こそは、と練習してきました。結果は1回無失点と、神宮で投げることにに対して手応えを感じる部分もありました。しかし、チームは勝てる試合を落としてしまい、目標は達成できませんでした。チーム、自分にとって新人戦での登板は非常に良い経験となりましたので、この経験と勝てなかった悔しさを生かして冬の練習に励み、来春のリーグ戦で他大学と互角の勝負をします。ご声援ありがとうございました。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「新体制挨拶」というテーマで、新チームの主将、副将、主務に抱負や決意を語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしくお願い致します。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。